

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子です!
京都市議員

発行：2021年1月17日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

困っている人にやさしい政治を!!

共産党市議団がハローワーク前でアンケート調査

日本共産党市議員団は、12月21日～23日の3日間、市内3か所のハローワーク前でアンケート調査をしました。西野市議は烏丸御池のハローワーク前に参加しました。ここは女性専用の相談窓口もあるので、女性の姿が多く見られました。「コロナで仕事がなくなり、失業保険で暮らしていたがなかなか次の仕事が見つからずに焦っている」

「雇用調整助成金などの制度を知らなかった。チラシをもらいます。ありがとう」「正規雇用ではないが、やっとアルバイトが見つかってほっとしている」等の声が聴かれました。

訪れる人が途絶えることのない状況に、深刻な状況の一端が感じられました。この調査をもとに、京都市にできることを提案していきます。



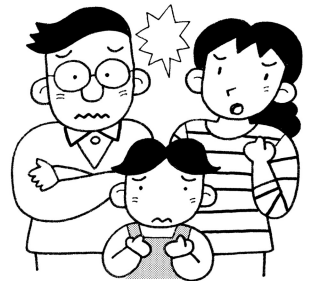
女性専用窓口を利用した女性から話しを聞く西野市議。途切れることなく人が訪れ、深刻な状況の一端を感じさせる。

市民サービス切り捨ては許さない!!力あわせてストップを!!

コロナ禍のもと、「年が越せない」との悲鳴が上がる市民に対して、12月28日に市長は「今後の行財政改革の視点及び主な改革事項の方向性について」を記者会見で発表しました。2021年度～2023年度の3年間を集中改革期間として、あらゆる市民サービスカットの方針を示しました。そして、1月12日に行われる総務消防委員会で具体的な視点を報告し審議するとしています。

首都圏に続き関西圏でも感染者の急増で、緊急事態宣言の発出を国に要望している中での市民リストラは命に係わる危険があります。例えば市営住宅に関する項目では、2021年度は団地再生事業や管理戸数の適正化、公募戸数の最適化として、戸数を減らす方向です。更に2

022年度は家賃の減免制度や運営のあり方見直しで、家賃の値上げや市営住宅の民営化も検討されます。今すべきことは、コロナ禍で苦しんでいる市民生活を応援し、頑張るエネルギーを持ってもらう事や社会的なPCR検査を進め、医療機関への財政支援などです。国が地方交付税を減らしていることに抗議することや、国の責任を求めることもなしに市民にばかり責任を押し付けることは問題です。市民の声ではね返す必要があります。共産党は市民生活を守るために頑張ります。

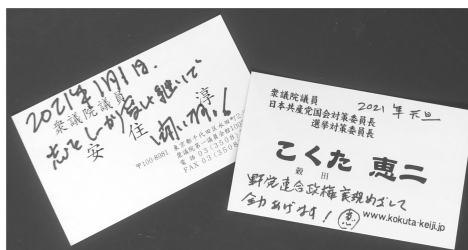


恒例の山本宣治墓前で野党共闘の推進の誓い



今年も1月1日、山本宣治の墓参をしました。立憲民主の安住氏も共闘の誓いを穀田議員に託されました。

た二住立
名さ氏憲
刺さんか
(左側)ら主
に託さ野
れ恵田党
のの
れ恵安



「敬老乗車証を守ろう!連絡会」が市民にアピール

またまた市長が敬老乗車証制度の改悪を狙っています。京都新聞にはすでに決まったかのような報道がありましたが、来年度予算では手が付けられませんでした。市民の「今のままの制度を守ってほしい」と大きな声に押されてのことです。「そうはいつでも京都市は財政が大変だし」との声もありますが、市長は市民に負担を押し付ける一方



で北陸新幹線などの工事は早くしてほしいと国に要望を出しています。税金の使い方の見直しが必要です。新しい署名用紙ができました。次回の署名提出は2月4日です。7年目も押し返しました。さらに多くの署名で改悪を断念してもらいましょう。